

中国美術史入門b

—宮廷美術と都市の画家たち—

(1年 後期 2単位)

宮崎法子

授業のテーマ・目標

前期で学んだ元代までの中国美術の展開を山水画と花鳥画を中心に振り返り、それを継承しつつ新たな芸術を発展させた明清時代の美術について、宮廷画家（職業画家）と文人画家の作品を中心に学ぶ。特に日本の近世文化に深い影響を与えた明清の文人文化について知り、時代のなかでそれぞれの個性が様々な形で表現された文人画の豊かな世界を味わい、理解することを目標とする。

授業の内容

1. 前期試験の答え合わせと前期の復習（南北朝から宋代までの）
2. 復習 宋元の宮廷絵画（職業画家）と文人画家の作品
3. 元末から明へ 時代の変化と美術
4. 明の宮廷画家と浙派
5. 蘇州の復興と呉派 沈周
6. 文徵明と周辺の画家
7. 蘇州の画家 仇英と唐寅
8. その他の蘇州の画家たち 様々な個性
9. 挫折と芸術
10. 奇想派と版画 文人文化の広がり
11. 董其昌とその芸術
12. 清初の正統派 四王呉惲
13. 明末清初の個性派 八大山人と石涛
14. 揚州の画家達
15. 清の宮廷と美術

準備学習

- ・前期の配布資料やノートを読み、復習すること。
- ・毎回配布される資料を、授業の前に読み内容を把握すること。
- ・インターネット上の画像と配布資料により、授業内容を復習し、ノートを完成させること。
- ・その他授業中に、参考図書を使つての学習方法を指導するので、それに従つて各自学習を行うこと。

テキスト・教材

授業内容は、すべてオリジナルなもので、従来の概説書にはない内容である。授業に出席し、内容を理解することが最も大切になる。授業に沿つたプリントを授業中に配布する。また、受講者は授業で用いた画像をインターネット上のアルバムで閲覧出来る。

成績評価の方法・基準

平常点（提出物、小テスト、複製展の感想などを含む）40%
試験 60%

参考書

『世界美術大全集』（東洋編7.8 元・明）（小学館）
宮崎法子構成・執筆『NHK 故宮博物院 絵画 清』
宮崎法子『花鳥山水画を読み解く—中国画の意味』（角川書店
2003年）